

# 移住と開拓が進む北海道

中学校 2年 社会科 歴史的分野

## I 実践の目指しているもの

北海道の開拓を光の側面と影の側面から考察し、構造化を図ることで、多面的・多角的な歴史的事項の見方を育てたい。また、その中で、アイヌの人々が新政府の政策によって、日本に取り込まれていった様子について理解を深めることを目指している。

## II 研究の内容

### 1 題材名（単元名）

第5部 3章 近代国家への歩み ～歴史を探ろう 移住と開拓が進む北海道～

### 2 題材の目標（単元の目標）

北海道の開拓を担う人々の思いを捉え、開拓に参加した人々の立場の相違に着目して、北海道の開拓の光の側面と影の側面を資料に基づいて理解する。また、新政府の政策によって、アイヌの人々が日本に取り込まれていった様子について理解を深める。

### 3 題材の指導計画（5時間扱い）・単元構成など

時	単元名	学習内容・学習活動
1	1 新たな外交と国境の画定	新政府は、どのような外交政策を進めたのか、欧米諸国とアジアに対する政策の違いにも着目しながら地図や資料から読み取ったりする。
2	2 沖縄・北海道と近代化の波	新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのか、地図や資料などから読み取ったり考えたりする。
3	【本時】歴史を探ろう 移住と開拓が進む北海道	北海道（札幌）の開拓は、新政府の役人、屯田兵、アイヌの人々、全国各地から移住した士族・平民の開拓団体、囚人、お雇い外国人など、様々な人々によって行われてきたことを理解する。
4	3 自由と民権を求めて	人々は意見を政治に反映させるために、どのような活動を展開したのか、地図や資料などから読み取る。
5	4 帝国憲法の成果と課題	大日本帝国憲法にはどのような特色があるのか、条文を読んだり選挙の様子を調べたりしながらその特色を考える。

### Ⅲ 本時について

#### (1) 本時の目標

- ・北海道の開拓を担う人々の思いを捉え、開拓に参加した人々の立場の相違に着目して、北海道の開拓の光の側面と影の側面を資料に基づいて考えることができる。
- ・北海道に対して、新政府がどのような政策を行ったのか、資料などから読み取り、まとめることができる。

#### (2) 本時の展開 (3 / 5)

	主な学習内容 (□)・活動 (■)	留意点												
<b>1. 事象への働きかけ</b>														
5分	<input type="checkbox"/> 北海道の開拓は、どのような人たちが行ったのだろうか <input checked="" type="checkbox"/> 教p169、170、171の資料から、開拓に関わった人たちを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新政府の役人、お雇い外国人、屯田兵、平民の移住集団、囚人など</div>	・生徒の発言を黒板に掲示												
<b>2. 課題の把握・課題の設定</b>														
10分	<input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「開拓のようす」を、資料をもとに新政府の役人、移民たち、アイヌの人々のそれぞれの立場で考えよう。</div> <input checked="" type="checkbox"/> 教p169～171から、それぞれの立場に「関連する語句」や「関連する資料の番号」をワークシートに記入する。	・個人学習 (ワークシート)												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">立場</th> <th style="width: 40%;">関連する語句</th> <th style="width: 40%;">関連する資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新政府の役人</td> <td>本格的な統治と開拓、開拓使、農地の開墾 など</td> <td>教 p 169の⑤ 教 p 170,171の①⑤⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>移民たち</td> <td>北海道の開拓と防備、開墾と農業、会社を組織 など</td> <td>教 p 169の⑤⑥ 教 p 170,171の①②③④⑩</td> </tr> <tr> <td>アイヌの人々</td> <td>日本語の教育、旧土人保護法、強制移住 など</td> <td>教 p 169の⑥⑦ 教 p 170,171の①⑩</td> </tr> </tbody> </table>	立場	関連する語句	関連する資料	新政府の役人	本格的な統治と開拓、開拓使、農地の開墾 など	教 p 169の⑤ 教 p 170,171の①⑤⑦⑧⑨⑩	移民たち	北海道の開拓と防備、開墾と農業、会社を組織 など	教 p 169の⑤⑥ 教 p 170,171の①②③④⑩	アイヌの人々	日本語の教育、旧土人保護法、強制移住 など	教 p 169の⑥⑦ 教 p 170,171の①⑩	
立場	関連する語句	関連する資料												
新政府の役人	本格的な統治と開拓、開拓使、農地の開墾 など	教 p 169の⑤ 教 p 170,171の①⑤⑦⑧⑨⑩												
移民たち	北海道の開拓と防備、開墾と農業、会社を組織 など	教 p 169の⑤⑥ 教 p 170,171の①②③④⑩												
アイヌの人々	日本語の教育、旧土人保護法、強制移住 など	教 p 169の⑥⑦ 教 p 170,171の①⑩												
<b>3. 課題解決に向けた追究</b>														
25分	<input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「開拓の光の側面と影の側面」を、新政府の役人、移民、アイヌの人々のそれぞれの立場で考えよう。</div> <input checked="" type="checkbox"/> 光と影の側面について、考えを深める。 <input checked="" type="checkbox"/> 考えを画用紙に書き、黒板に貼って発表する。(光: 赤文字 / 影: 青文字) <input checked="" type="checkbox"/> 似ている意見をまとめ、構造化を図る。  教p161の21行目「…民族独自の文化を保つことは、しだいに困難になりました」	・グループ学習 (4～5人 8グループ)  ・新政府の役人 (青)…3グループ ・移民 (赤)…3グループ ・アイヌの人々 (黄)…2グループ												
	<input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">北海道の開拓の影：アイヌ民族の独自の文化が奪われていったのは、なぜだろう。</div> <input checked="" type="checkbox"/> 「北海道旧土人保護法」や「日本人化」にむけた政策について、さまざまな差別があったことを理解する。	・参照：アイヌ民族：歴史と現在－未来を共に生きるために－												
<b>4. 課題の解決</b>														
10分	<input type="checkbox"/> どのような開拓 (政策) を進めるべきだったのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新政府の役人、移民、アイヌの人々が、互いの立場を尊重しながら開拓を進めるべきだった。</div> <input checked="" type="checkbox"/> 今、アイヌの人々が望んでいることは何だろう。	・互いの文化を尊重し、理解し合うこと												
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【課題を解決した生徒の姿】 新政府の役人、移民、アイヌの人々という立場の相違性を捉え、北海道の開拓の光の側面と影の側面について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現することができた。</div> <input type="checkbox"/> 学習の振り返り (ワークシート: 北海道の開拓 (光と影) についてまとめる) <input checked="" type="checkbox"/> 数名の生徒が発表を行う。													

## IV 実践のポイント

### 【成 果】

本実践では、北海道の開拓に参加した人々の立場の相違に着目しつつ、開拓の光と影の側面に迫ることができた。特に今回の授業で効果的だったのは、次の3点である。

#### ① 生徒同士の学び合い活動

本実践の課題追究部分では、開拓の光と影の部分について、三つの立場から北海道の開拓への思いを掘り下げた。仲間と考えを交流することを通して、生徒が課題解決への見通しをもてるよう工夫し、それぞれの意見を画用紙でまとめた。似た意見を整理し、構造化を図ることで、アイヌの人々が新政府の政策によって、日本に取り込まれていった様子を理解することができた。

#### ② 伝統文化の保存、継承について

北海道の開拓についての学習を通して「どのような開拓（政策）を進めるべきだったのか」「アイヌの人々が望む社会とは何か」など、歴史から今を学ぶ姿勢を大切にしたいと考えた。開拓の影の側面についてのみならず、これから生きる者（札幌人）として、伝統文化の保存や継承・振興の活動について多面的・多角的な考察ができたと考える。

#### ③ 「冬季アジア札幌大会」の開会式

まとめの部分で、2月に行われた「冬季アジア札幌大会の開会式」を映像資料として提示した。開会式は札幌ドームで行われ、そこではアイヌ民族の伝統的な文化（舞踊）が披露された。ドームは校区内にあり、生徒たちにとって身近な場所である。まさに「身近なもの＝自分事」としてアイヌ文化振興の今について深く考えるきっかけとなった。

### 【課 題】

～授業を参観した先生方からいただいたご意見～

#### ・ 中心課題の追究について

→三つの立場から、北海道の開拓について迫り、政府の政策が「政府」「移民」「アイヌの人々」にどのような影響を与えたのかをさらに掘り下げてみることも考えられる。

#### ・ 考察をする際には「主語」を大切にする

→アイヌ民族の文化を尊重しなかったのは誰か。「主語」を明確にして授業を進めていくことで、よりそれぞれの立場に寄り添った考察ができたのではないか。

#### ・ 生徒の変容の見取りについて

→自分が住んでいる札幌（北海道）がどのような歴史をたどってきたのか。そして、アイヌ民族の過去と今について、生徒の見方がどのように変容したのか。生徒の変容を見取り、まとめることが「ふるさと札幌の学び」としての成果となる。